

令和7年度 東北地区サイエンスコミュニティ研究校発表会
(東北地区SSH指定校課題研究発表会)の実施について(2次案内及び本申込)

1 目的

東北地区6県のSSH指定校など、理数系の課題研究に積極的に取り組んでいる高校生が、授業や部活動で取り組んできた研究成果を対面で発表し、発表者同士の対話を通じて相互交流・評価を行いながら切磋琢磨することで、これから活動や研究の質・量の両面で活性化を図る。

2 日時 令和8年1月30日(金)、31日(土)

3 会場 酒田市総合文化センター(〒998-0034 酒田市中央西町2-59 TEL0234-24-2991)
ホール、コミュニティルーム、309号室、310号室

4 主幹 山形県立酒田東高等学校

5 日程 1日目 1月30日(金)

13:00~ 受付

13:30~13:45 開会行事
・挨拶 山形県立酒田東高等学校 校長 斎藤一志
・挨拶 山形県教育庁 高校教育課
・諸連絡

14:00~14:50 課題研究紹介(1校2分程度×17校)※詳細は別項をご覧ください。

15:00~16:20 基調講演 講師:福田 真嗣 氏(株式会社メタジエン代表取締役社長 CEO
兼 慶應義塾大学先端生命科学研究所 特任教授)

演題「茶色い宝石が切り拓く!病気ゼロ社会の実現」

16:30~17:00 質疑応答

17:00~17:15 諸連絡等

2日目 1月31日(土)

8:45~9:15 受付

9:30~12:00 ポスターセッション※詳細は別項をご覧ください。

12:00~12:30 閉会行事

・挨拶 国立研究開発法人科学技術振興機構 主任専門員 奥谷 雅之 氏
・講評 山形大学農学部 渡部 徹 氏
・講評 東北公益文科大学 古山 隆 氏
・講評 慶應義塾大学先端生命科学研究所 富樫 貴 氏
・令和8年度 開催県(岩手県)より挨拶

6 東北管内SSH指定校(参加予定17校)

| | | |
|-----|--------------------|------------------|
| 青森県 | 青森県立青森高等学校 | 青森県立五所川原高等学校 |
| 岩手県 | 岩手県立一関第一高等学校・附属中学校 | 岩手県立釜石高等学校 |
| 秋田県 | 秋田県立秋田中央高等学校 | 秋田県立横手高等学校 |
| 宮城県 | 宮城県仙台第一高等学校 | 宮城県仙台第三高等学校 |
| | 宮城県古川黎明中学校・高等学校 | 宮城県多賀城高等学校 |
| 山形県 | 山形県立米沢興譲館高等学校 | 山形県立酒田東高等学校 |
| | 山形県立致道館高等学校 | 山形県立東桜学館中学校・高等学校 |
| 福島県 | 福島県立福島高等学校 | 福島県立安積高等学校 |
| | 福島県立会津学鳳高等学校・中学校 | |

7 指導・助言（ポスター発表）

山形大学農学部 学部長 渡部 徹 氏
東北公益文科大学 教授 古山 隆 氏
慶應義塾大学先端生命科学研究所 高校生教育事業専任 富樫 貴 氏

8 経費等

(1) 会場使用料、会場施設設備準備費等の経費について

- ①参加校で按分とし、1校7,000円で、この予算で不足が生じた場合は、幹事校で負担します。
- ②参加校は事務マニュアルに従い「要求書」、「事業経費説明書」を作成し、幹事校事務担当まで提出してください。提出先は、別紙の「参加申込」(2)を御覧になってください。

(2) 旅費（交通費・宿泊費など）については、各参加校の負担となります。

- (3) 宿泊・交通機関・昼食などについては、各自で手配をお願いいたします。
- (4) 教員、管理機関の研修会・懇親会などの開催は予定しておりません。

9 ポスターセッションについて

予備調査において多数の希望がありました。会場の収容人数、運営・危機管理上の観点より、以下の上限を設定させていただきますので、御協力をお願いいたします。

- (1) 各校2題を上限とし、構成する人数は8名以内とする。
- (2) 見学のみの生徒の上限は各校で事前に申請している人数とし、生徒の選抜は各校で行う。
- (3) 発表に使用するポスターはA4判1枚とする。
- (4) 発表の方法は、(発表20分+準備5分)×6セット(A・B・Cの3チームに分け、1つのチームが発表の時他の2チームは聴講、2セット行う。(3チームあるので、休憩15分1回を入れた合計6回転)
※発表の20分間の使い方は自由とする。発表と質疑応答の時間を各チームで設定する。(20分間全て説明も可)
- (5) その他実験器具等の持ち込みも可としますが、事前申込に必ず御記載ください。当日、現地での物品関係の貸し出し等は対応しかねます。

10 課題研究紹介について

- (1)パワーポイントで自校紹介をスライド2枚以内、課題研究の紹介を1題につきスライド3枚程度で作成し、1校2分程度で発表する。紹介内容の時間配分については、各校の自由とする。2日目のポスター発表の内容をPRする場としてお考えください。
- (2)各校で作ったスライドは幹事校で集約し、幹事校が用意したパソコンで紹介する。

令和7年度東北サイエンスコミュニティ
事務局 山形県立酒田東高等学校
理数探究科学科長 小野 崇
TEL (0234) 22-1361 (職員室)
FAX (0234) 22-1376 (職員室)
E-mail sonot@pref-yamagata.ed.jp